

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	夢の樹みどり			第三者評価受審年度	平成30年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成30年度)	改善計画 (平成30年度末時点)	実施状況 (平成30年度末時点)	実施状況 (平成30年度末時点)	
先回りの支援ではなく利用者一人ひとりのできることを尊重し、見守る支援への取り組みが期待されます。	利用者一人ひとりの特徴や支援目標を共有した上で、できることは可能な限り自身で行えるよう見守りをしているが、その共有の徹底が不十分からか、先回りの支援を行ってしまうことがある。また、支援目標が実際の課題に即していないことも散見される。	支援目標の見直しを行うほか、施設長及びグループリーダー2名の職員に対する支援方法や記録作成への関与を強化し、職員間の情報共有の徹底を図る。	支援計画の見直しを行ったほか、記録の精度向上と職員間の情報共有の徹底を図った。まだ不十分な点はあるものの、状況は少しずつ改善されている。		
協力医療機関との連携を強めるなど、医療体制を充実させることが期待されます。	看護師2名を配置し、利用者の様々な健康状態に対応できるような体制を整えているほか、必要に応じて、利用者各々の主治医とも連携を図っている。しかし、協力医療機関との連携強化は取りくめていない。	平成31年度上半期に協力医療機関の嘱託医と打ち合わせする機会を設け、利用者の状況や今後の連携方法について確認をする。その確認に基づき、下半期にインフルエンザの予防接種を依頼するなど連携を図る。	協力医療機関との連携方法を整理したほか、嘱託医との打ち合わせ日程を調整している。		
移転まもないことから、地域との結びつきを強化していくことが期待されます。	近隣地域の資源回収作業や公園清掃、散歩など日常の活動を通じて、少しずつ地域との交流が深まっているほか、近隣住民の方が作業の材料となる缶やペットボトルを当事業所に持ち込む回数も増えてきている。また、太陽光発電のNPO法人のソーラー設置に協力する為の準備を進めており、地域貢献についても取り組んでいる。	今後も資源回収作業や散歩など、日常の活動を通じて地域との交流を深めていくほか、31年度中に、太陽光発電のNPO法人のソーラー設置に協力する為、当事業所の屋根を提供する。	資源回収や外出活動など地域に出で行う作業や活動を継続しており、地域と触れ合う機会を増やすよう取り組んでいる。また、ソーラー設置に向けて、工事日程の調整など、設置業者との打ち合わせを進めている。		